

2020年10月6日
 仙台銀行
 日本政策金融公庫
 (仙台支店、石巻支店)

南三陸の地域資源を活かしたワイン醸造を支援 ～仙台銀行・日本政策金融公庫が協調融資～

仙台銀行と日本政策金融公庫（仙台支店、石巻支店）は、株式会社南三陸ワイナリー（南三陸町、代表取締役：佐々木道彦）に対し、ぶどう畑の整備と醸造施設建設に必要な資金について、協調融資による支援を行いました。

このたび施設が完成し、10月7日にオープンいたします。空き工場をスタイリッシュに改装した建物で、志津川湾まで70メートルの海風を感じられるワイナリーです。三陸の海の幸とマッチするフレッシュな辛口のワインを用意してお客様をお迎えします。

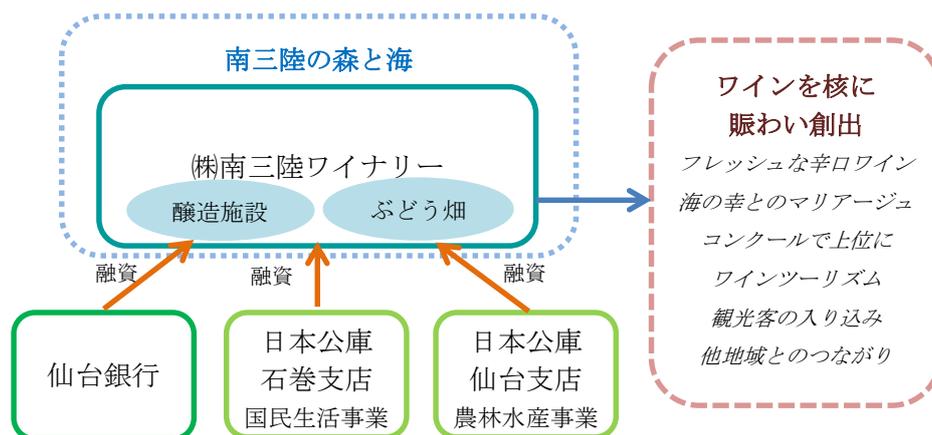
○プロジェクトのこれまで

現地にぶどう苗木100本が植えられたのは2016年。人口減少・産業衰退という地域課題に対して、ミネラル豊富な土壌と三陸の海の幸という地域資源を活かしたワイン醸造で立ち向かうチャレンジのスタートです。翌2017年に「南三陸ワインプロジェクト」として本格始動、2019年にはプロジェクトが法人化して南三陸ワイナリーが設立されました。同年の「Japan Wine Competition（日本ワインコンクール）2019」では、同社の「DELAWARE 2018（デラウェア 2018）」が宮城県のワインでは初めて奨励賞を受賞。同ワインは研修先の株式会社仙台秋保醸造所に委託醸造して初めて世に送り出したワインでした。そして今回ようやく自前の醸造施設が完成し、新たなステージの幕開けとなります。

当初100本だった小さな苗木は、今や3,000本に増え、昨年からぶどうの収穫もできるようになりました。

○地域金融機関と政策金融が協調して支援

ぶどうを苗木から育成しワイン醸造をするという息の長い事業であることから、政策金融と民間銀行との協調融資のスキームで支援することとし、日本公庫（石巻支店国民生活事業）は運転資金、日本公庫（仙台支店農林水産事業）は設備と運転資金、仙台銀行は設備資金で融資支援を行いました（事業費及び融資額は非公表）。



<ワイナリー（醸造施設）概要>

所在地	南三陸町志津川
敷地面積	約 2,000 m ²
延べ床面積	約 800 m ²
主な施設	ワイン醸造設備、ワインショップ、オープンテラス
初年度生産予定数量	9キロリットル、12千本（750ml換算）
醸造予定のワイン （ブドウの産地）	シャルドネ（南三陸町）、シャルドネ（山形県）、スチューベン（山形県）、デラウェア（山形県）、メルロー（山形県）、マスカット・ベリーA（山形県）、その他南三陸町産りんごのシードル

<ヴィンヤード（ブドウ畑）概要>

所在地	南三陸町入谷、南三陸町歌津、山形県上市市
面積	約 39,000 m ²
育成中のぶどう	シャルドネ 1,900本、ソーヴィニヨン・ブラン 360本、アルバリーニョ 200本、メルロー 1,500本、カベルネ・ソーヴィニヨン 150本、ビジュノワール 90本

【育成中の様子】



【完成イメージ図】



【田東山圃場からの風景（奥が志津川湾）】



【製品】



【お問い合わせ先】

- 仙台銀行 地元企業応援部法人推進室（担当 佐々木）
〒980-8656 仙台市青葉区一番町二丁目1-1
TEL 022-225-8310 FAX 022-225-4636
- 日本政策金融公庫 石巻支店 国民生活事業（担当 森、千田）
〒986-0825 石巻市穀町16-1 明治中央ビル1階
TEL 0225-94-1201 FAX 0225-93-7024
- 日本政策金融公庫 仙台支店 農林水産事業（担当 佐藤、橋本）
〒980-8454 仙台市青葉区中央1-6-35 東京建物仙台ビル11階
TEL 022-221-2333 FAX 022-263-4609